

令和 7 年度第 1 回

国民健康保険運営協議会

令和 7 年 7 月 3 1 日

東 久 留 米 市

令和7年度第1回国民健康保険運営協議会

令和7年7月31日午後1時30分開会

東久留米市役所本庁舎4階 庁議室ほか

議 題

(開 会)

(会議録署名委員の指名)

(議 題)

(1) 令和6年度東久留米市国民健康保険特別会計歳入歳出決算

(2) 令和7年度東久留米市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)(案)

(報 告)

(1) 令和6年度国民健康保険税の徴収状況について

(2) データヘルス計画の経過報告について

(3) その他

出席委員(8名)

会 長 古 井 祐 司 君
委 員 小清水 治 太 君
委 員 中 島 春 江 君
委 員 村 野 邦 男 君

委 員 齋 藤 昇 司 君
委 員 小 玉 剛 君
委 員 西 村 より子 君
委 員 米 内 久 永 君

説明者(5名)

福祉保健部長 中 谷 義 昭 君
市 民 部 佐 川 公 行 君
納 税 課 長
保 険 年 金 課
国民健康保険 南 部 健 一 君
係 長

福祉保健部 後 藤 寿 之 君
保険年金課長
福祉保健部 新 妻 理 成 君
健康課長

◎開会及び開議の宣告

○会長 本日は、お忙しい中ご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

これより、令和7年度第1回東久留米市国民健康保険運営協議会を始めたいと存じます。

初めに、本日の出席委員を確認いたします。

本日は熊野委員、鈴木委員がご欠席となっておりますが、国民健康保険運営協議会規則第7条に定める定足数に達しておりますので、会議は成立しております。

市のほうからは、関係部課長、担当係長などが出席をされています。

また、本年4月の人事異動で事務局の皆様が代わっておりますので、自己紹介のほうをよろしく願います。

○事務局 それでは、ご挨拶をさせていただきたいと存じます。

本年4月1日に保険年金課長を拝命いたしました後藤と申します。よろしくお願い申し上げます。

○会長 ありがとうございます。

それでは、続きまして、これまで公益代表として委員を務めていらした山崎委員が明治薬科大学教授職を退任されたことに伴いまして、新たに明治薬科大学教授の小清水委員に公益代表委員として着任をしていただきました。恐縮ですが、自己紹介のほうをどうぞよろしくお願いいたします。

○委員 明治薬科大学の小清水と申します。主に地域医療学といいまして、広く地域のことの教育のところに携わる部門にあります。どうぞよろしくお願いいたします。

○会長 ありがとうございます。どうぞよろしくお願いいたします。

◎会議録署名委員の指定

○会長 続きまして、次第2の会議録署名委員の指名です。

本日は、齋藤委員、小玉委員、村野委員のお三方にお願いしたいと存じます。どうぞよろしくお願いいたします。

また、本協議会での会議録及び資料の取扱いについてお諮りいたします。

原則として、会議録及び資料は公開となります。ただ、審議内容によって、東久留米市議会での議決に関わる内容を含むことがあります。その場合、当該内容の議決後に同協議会の会議録及び資料を公開するものといたします。併せて、傍聴の方への資料提供の取扱いですけれども、東久留米市議会にて審議が必要な内容を含む場合には、協議会終了後に回収をさせていただくというものといたします。

なお、会議録については、氏名の記載は行わず、役職名での表記となりますので、ご了承をお願いしたいと存じます。

以上につきましてご異議などございませんでしょうか。

(発言する人なし)

○会長 ありがとうございます。

◎議事進行の確認

○会長 本日は「令和6年度東久留米市国民健康保険特別会計歳入歳出決算」のほかに1件の議題及び報

告を予定しています。おおむね午後3時までに終了させていただきたいと存じますので、ご協力をお願いいたします。

◎傍聴者の確認

○会長 それでは、傍聴希望者の確認ですが、事務局、本日はいらっしゃいますでしょうか。

○事務局 ただいま現在いらっしゃらない状況でございます。

○会長 それでは、傍聴者はおりませんが、遅れて来られた際には傍聴を許可させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

◎配付資料の確認

○会長 それでは、議事進行に入る前に、事務局より配付資料の確認をお願いいたします。

○事務局 それでは、資料の確認をさせていただきます。

会議開催に先立ちまして、皆様に事前配付させていただきました資料と本日机上配付させていただきました資料を合わせてご確認いただければと存じます。

まず、本日の次第でございます。続きまして、議題1、ホチキス留めとなっております「令和6年度東久留米市国民健康保険特別会計歳入歳出決算」。続きまして、議題2、こちらもホチキス留めとなっております「令和7年度東久留米市国民健康保険特別会計補正予算（案）」。「こちらでございますが、内容に若干修正がございまして、差替え後のものを机上配付させていただいております。

続きまして、資料1、「令和6年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算」。続いて、資料2、「各年度国民健康保険特別会計決算額の推移」。続いて、資料3、「国民健康保険被保険者数等の推移」。続きまして、資料4、その下に資料5も記載させていただいております。資料4が「国民健康保険加入率等の推移」、資料5が「一般会計繰入金等（過去6年間）の推移」。続いて、資料6、「各年度医療費（療養給付費等）の推移」。続きまして、資料7、両面印刷となっております、「被保険者現年度分の調定収入状況」。続いて、資料8、同じく両面印刷となっております、「法定軽減の各年度件数及び金額」。続きまして、資料9、「令和6年度国民健康保険税徴収決算前年対比（令和7年度5月末）」。「続いて、資料10、A3の用紙で、こちらはホチキス留めとなっております、「東久留米市国民健康保険データヘルス計画の進捗状況」。

その他参考資料といたしまして、「東久留米市国民健康保険運営協議会委員名簿」、「令和7年度東久留米市健康ガイド保存版」、「東久留米市国民健康保険税のご案内」。

配付資料につきましては以上でございます。

過不足等ございましたら、事務局までお願い申し上げます。

以上でございます。

○会長 ありがとうございます。

◎令和6年度東久留米市国民健康保険特別会計歳入歳出決算

○会長 それでは、次第3、議題（1）のほうに移りたいと存じます。

まず、事務局より説明をお願いいたします。

○事務局 それでは、議題の1でございます、令和6年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算についてご説明をさせていただきます。

議題1、「令和6年度東久留米市国民健康保険特別会計歳入歳出決算」の1ページをお開きください。

歳入歳出決算でございますが、歳入歳出ともに予算現額は119億8,486万8,000円でございます。歳入決算額は113億7,190万8,838円、歳出決算額が113億5,652万5,771円でございます。その結果、歳入歳出差引残額は1,538万3,067円となっております。

続きまして、歳出決算額と構成比をご説明させていただきますので、資料1、「令和6年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算」をご覧くださいと思います。

下段の歳出の表でございます。1款の総務費、右から7列目になりますが、支出額というところでございます。1款総務費が1億8,199万2,062円で、構成比は1.6%、前年度比5.2%の増となっております。

続きまして、2款の保険給付費は71億7,202万2,569円で、構成比は63.2%、前年度比5.1%の減となっております。

続きまして、3款の国民健康保険事業費納付金は37億261万4,994円で、構成比は32.6%、前年度比1.6%の減でございます。

続きまして、4款の保健事業費は1億2,777万3,165円で、構成比は1.1%、前年度比2.5%の減でございます。

続きまして、5款の基金積立金は1,036万9,385円で、構成比は0.1%、前年度比46.5%の減でございます。

7款の諸支出金は1億6,175万3,596円で、構成比は1.4%、前年度比58.5%の増でございます。

6款及び8款につきましては、いずれも執行額はございませんでした。

次に、表の上段の歳入でございます。

主な歳入決算額と構成比でございますが、1款の国民健康保険税の収入済額は23億5,955万7,996円、構成比は20.8%、前年度比2.2%の増でございます。

4款の都支出金は、74億2,966万3,381円で、構成比は65.3%、前年度比5.2%の減でございます。

6款の繰入金は、15億4,708万1,228円で、構成比は13.6%、前年度比1.7%の減でございます。

7款の繰越金は、1,036万4,675円で、構成比は0.1%、前年度比46.5%の減でございます。

8款の諸収入は、2,129万848円で、構成比は0.2%、前年度比8.5%の増でございます。

続きまして、冊子のほうにお戻りいただきまして、決算書事項別明細書の28ページになります。28ページからの歳出のほうをご説明させていただきます。28ページをお開きください。

28ページからの1款総務費でございますが、人件費や各種システム改修に係る経費などで、前年度比で5.2%増加しております。

続きまして、34ページからになります。34ページをお開きください。

2款保険給付費でございますが、令和6年度におきましては団塊の世代の後期高齢者医療保険への移行などによりまして、依然として被保険者数の減少傾向は続いており、前年度比で5.1%減少しております。

続きまして、40ページをお開きください。

3 款国民健康保険事業費納付金は、保険給付に係る費用の納付金として医療給付費分、後期高齢者支援金分、介護納付金分を合わせまして東京都へ納付するもので、都による算定の結果、前年度比で 1.6%減少しております。

続きまして、42ページをお開きください。

4 款の保健事業費は、後発医薬品差額通知等の費用や健康増進・サポート事業、特定健康診査などに係る事業費で、2.5%の減少となっております。

続きまして、48ページをお開きください。

5 款基金積立金は、令和 5 年度決算剰余金を全額積み立てたもので、前年度比 46.5%の減少となっております。

その他につきましては、例年実施しております国民健康保険事業の運営に要した経費となっております。

次に、ページをお戻りいただきまして、10ページをお開きください。

歳入のほうのご説明をさせていただきます。

1 款国民健康保険税は、令和 6 年度は税率等改定による調定額の増、被保険者数の減少傾向などの影響から、前年度比 2.2%、およそ 5,100 万円の増となっております。

続きまして、16ページをお開きください。

4 款都支出金は、東京都が国民健康保険制度財政主体であることに伴いまして、保険給付費に必要な費用を普通交付金として市へ約 72 億 4,600 万円交付されたほか、特別交付金として保険者努力支援分、特別調整交付金分、都繰入金 2 号分、特定健康診査等負担金を、財政状況や実施状況に応じた財政調整として交付を受けた結果、前年度比 5.2%、4,000 万円余の減となっております。

続きまして、20ページをお開きください。

6 款繰入金は、前年度比 1.7%、2,700 万円余の減となっております。なお、一般会計から赤字補填分として繰入れを行うその他一般会計繰入金は 7 億 3,200 万円で、前年度比 17.1%、1 億 700 万円の増となっております。

また、国民健康保険事業運営基金繰入金は、前年度比 57.0%、1 億 3,200 万円余の減となっております。

続きまして、24ページをお開きください。

8 款諸収入は、第三者行為や不当利得に係る納付金・返納金等が増加したことにより、前年度比 8.5%、160 万円余の増となっております。

最後に、国民健康保険の被保険者の状況でございますが、資料 3 をご覧ください。

年度末におけます国民健康保険被保険者等の状況でございます。国保世帯及び被保険者数については、それぞれ令和 5 年度は 1 万 5,208 世帯、2 万 1,912 人で、令和 6 年度は 1 万 4,951 世帯、2 万 1,205 人となっております。世帯では 257 世帯、1.7%の減、被保険者では 707 人、3.2%の減となっており、引き続き減少傾向が続いている状況となっております。

説明は以上となります。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

○会長 どうもありがとうございました。

それでは、委員の皆様よりご質問あるいはご意見などございますでしょうか。

お願いいたします。

○委員 決算書にあります都の支出金についてですが、これは都から交付されるインセンティブに当たるかと思いますが、東久留米市の都支出金は多摩地区の中でどのくらいの順位になっているますか。

○会長 ありがとうございます。

それでは、事務局よりお願いいたします。

○事務局 ご質問いただきましたインセンティブに係ります近隣市の状況についてお答え申し上げます。

市の取組によりまして評価される令和6年度努力支援交付金の近隣市及び東京都内での順位でございますが、都全体で見ますと12位、26市に限りますと9位、近隣の5市で見ますと上から2番目というような状況になってございます。今後も引き続きインセンティブの獲得に努めてまいりたいと考えてございます。

以上でございます。

○委員 ありがとうございます。

続いて、もう一つです。資料6の各年度の医療費の推移が伸び率は下がっており、これは国民健康保険に加入している方が減っているということでしたが、例えば加入者の皆さんが自分の健康維持のために努力をして医療費がかからなくなると、国保税が下がるということはあるますか。

○会長 ありがとうございます。

では、こちらもお願いいたします。

○事務局 ご質問いただきました点について、医療費がかからなくなった場合の影響ということでお答え申し上げます。

委員のお見込みのとおりでございますが、国民健康保険の医療費は加入者の方々がお納めいただいております国民健康保険税によって賄われているものでございます。市全体での医療費が削減されることで、国民健康保険税の税率の引上げを抑制するといった効果があるというのは事実であります。しかしながら、けがや病気による適正な医療を受診するということは必要なことでございますので、こちらの受診を控えるなどといったことを行うような形ではなくて、反対に健康の増進、あるいは健康の維持に努めていただきまして医療費の削減をしていただきたい、こういう取組が重要かと存じます。

以上でございます。

○委員 ありがとうございます。

○会長 ありがとうございます。

そのほかにもございますでしょうか。

お願いいたします。

○委員 資料1のほうで歳入歳出決算の構成比なんですが、東久留米市は国民健康保険税は20.4%、繰入金金は13.6%となっています。近隣市の構成比、または当市と比較するとどのような数値になっているのか教えていただけますか。

○会長 こちらも、では事務局お願いいたします。

○事務局 質問についてお答え申し上げます。

国民健康保険税の繰入金の構成比ですが、現時点では昨年度の決算値がどこの市もまだ公表している段階ではございませんので、参考値として説明いたします。一昨年、令和5年度の決算での構成比のほ

うを確認いたしましたところ、国民健康保険税の構成比は17%から19%、繰入金の構成比、こちらは14.8%から16.5%となつてございます。

近隣市と比較いたしますと、国民健康保険税の構成比は本市はほかの市よりも高い状況、繰入金の構成比はほかの市よりも低い状況にあるというのが現状でございます。

なお、基準を合わせて当市の令和5年度との決算値と比較いたしましても、構成比の比較の結果というのは同様ということでございます。

以上でございます。

○委員 どうもありがとうございます。

○会長 ありがとうございます。

そのほかでございますでしょうか。

(発言する人なし)

○会長 特によろしいでしょうか。

私から、一つご質問なんですけれども、繰入れの額が少し増えたというご報告がありましたが、この繰入れが増えたことについて、どのようなことが背景としてあるか、お聞かせいただけますか。よろしくお願いたします。

○事務局 お答えさせていただきます。

端的に申し上げますと、東京都のほうに支払う納付金額というのがございますが、こちらの金額が下がったと一方で、東京都への過年度返還金が増額したことが要因として挙げられるかと存じます。

以上でございます。

○会長 分かりました、ありがとうございます。ここはいろんな制度が組み合わさっているんで、そのときによって数字に変化がありますが、よろしくお願いたします。

そのほかになにかご質問、ご意見ありますでしょうか。

(発言する人なし)

○会長 よろしいでしょうか。

それでは、これをもって質疑のほうを終了させていただきます。

今回、事務局のご説明のとおりご承認いただきたいと存じますが、異議ございませんでしょうか。

(「異議なし」と言う人あり)

○会長 ありがとうございます。

それでは、異議なしとして承認をいたしたいと思います。ありがとうございます。

◎令和7年度東久留米市国民健康保険特別会計補正予算(案)

○会長 それでは、続きまして、令和7年度東久留米市国民健康保険特別会計補正予算(案)につきまして、事務局よりご説明をお願いいたします。

○事務局 それでは、議題の(2) 令和7年度東久留米市国民健康保険特別会計補正予算(案)についてご説明をさせていただきます。

議題2、「令和7年度東久留米市国民健康保険特別会計補正予算(案)」の2ページをお開きください。

本補正予算（案）は、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億3,290万9,000円を追加し、歳入歳出予算の総額を、歳入歳出それぞれ115億5,564万8,000円とするものでございます。

初めに、歳出からご説明をさせていただきます。

14ページをご覧ください。

5款1項、目1基金積立金は、前年度繰越金を国民健康保険事業運営基金に積み立てるもので、1,538万4,000円を増額するものでございます。

続きまして、7款諸支出金、1項償還金及び還付金、目2償還金は、普通交付金、特別交付金並びに特定健診等負担金の前年度の精算に伴いまして、1億1,752万5,000円を増額するものでございます。

次に、ページをお戻りいただきまして、12ページの歳入をご説明させていただきます。

6款繰入金、1項他会計繰入金、目1一般会計繰入金は、過年度償還金等の支払いに当たり不足する財源につきまして、一般会計より繰り入れるもので、1億1,752万6,000円を増額するものでございます。

7款1項、目1繰越金は、令和6年度の決算剰余金を繰り越すもので、1,538万3,000円を増額するものでございます。

説明は以上となります。よろしくご審議のほどお願い申し上げます。

○会長 ありがとうございます。

それでは、皆様よりご質問、ご意見ございますでしょうか。

よろしくお願いいたします。

○委員 今回の補正予算に計上されております償還金についてですが、こちらはこういった経緯で発生したものでしょうか。

○会長 事務局のほう、お願いいたします。

○事務局 償還金についてでございます。こちらは昨年度東京都より交付をされました普通交付金や各種の交付金、また、いわゆるインセンティブなどの返還分ということになってございます。そして例年、年度の初めに昨年度分の実績の報告を行ってございます。交付申請は見込みとして申請しているため、どうしても実績の額とは差額が発生してしまいます。加えて、実績の額が申請額を上回ってしまった場合には超過分というのは支給されないような実態がございますので、申請額は見込み額を少し上乗せした形での計上ということをさせていただいております。

今回は実績報告に基づきまして、交付された金額に対して実績額が少なかったため、その差額を返還するというものとなってございます。

また、この償還金は、一般会計からの繰入金を財源としておりまして、実績報告を、例年、年度の初めに提出をしているといった状況でございます。

以上でございます。

○会長 ありがとうございます。

そのほかに何かございますでしょうか。

（発言する人なし）

○会長 特にございませんでしょうか。

それでは、以上をもちまして質疑のほうを終わらせていただきたいと思います。

事務局の説明のとおりご承認をいただきたいと存じますが、ご異議ございませんでしょうか。

（「異議なし」と言う人あり）

○会長 ありがとうございます。

それでは、異議なしということでご承認をいたします。

◎報告

○会長 本日議題は以上でございますが、これより事務局からご報告があるということです、事務局よりお願いいたします。

○事務局 事務局からの報告でございますが、次第4にご記載させていただいておりますが、記載のある順番でご報告を申し上げたいと存じます。

まず、納税課長より「令和6年度国民健康保険税の徴収状況について」、そして私と健康課長から「データヘルス計画の経過報告について」、最後にその他といたしまして、私のほうからご説明をさせていただきます。予定でございます。

ご質問につきましては、各々の説明が終わりましたら、お願い申し上げます。

それでは、納税課長より、（1）のご報告をお願い申し上げます。

○事務局 納税課からは、令和6年度国民健康保険税に関する徴収状況について報告させていただきます。

最初に、国民健康保険税現年分の収納状況でございます。

資料9の右側、6年度小計欄をご覧ください。調定額が23億9,630万円、収入額が22億6,664万8,000円、収納率は94.6%、前年度比で0.6ポイントの減となっております。

下段、滞納繰越分は調定額が2億2,916万8,000円、収入額が9,291万円、収納率は40.5%、前年度比で0.7ポイントの増となっております。

納税課におきましては、国民健康保険税をはじめ市税収入を確保するため、次のような取組を行いました。

まず、今年度同様、来庁が難しい方のために平日夜8時までの夜間窓口を年3回、本日も行います。土曜日、日曜日の休日窓口を年6回行ったほか、5年度まで実施していたシルバー人材センターを活用した電話催告に代わりまして、6年7月より自動電話催告及びSMS（ショートメッセージサービス）催告を開始いたしました。また、納付環境の整備といたしまして、市民税、都民税、森林環境税、固定資産税、都市計画税、軽自動車税の当初納税通知書での共通納税システムが導入され、窓口納付が取扱い停止となった金融機関や本市では未導入であったクレジットカードでの納付も可能となりました。

国民健康保険税については、令和6年度から導入いたしましたので、納付の利便性向上により収納率のアップが期待されます。

こうした取組により納期内納税者の方が増える一方で、財産があるにもかかわらず納付しない方につきましては差押え等の滞納処分を行い、納期内納税者の方との公平性を担保してございます。

納税課といたしましては、今後とも国民健康保険制度の安定のため、保険年金課と連携を取りながら、累積滞納者の抑制や納税意識の向上に努めてまいります。

以上でございます。

○会長 ありがとうございます。

ただいまのご説明、ご報告に対しまして、何か質疑がございますでしょうか。

お願いいたします。

○委員 夜間窓口を年3回、休日窓口を年6回していただいているということですが、実績を教えてくださいませんか。

○会長 お願いします。

○事務局 9日間の合計になりますが、187件、約400万円の納付がございました。

以上でございます。

○委員 もう一ついいですか、休日窓口対応の職員の人数は決まっていますか。

○会長 お願いします。

○事務局 納税係には徴収担当が14名おります。土日で半分ずつ、6人ないし7人で対応しております。

以上です。

○委員 ありがとうございます。

○会長 ありがとうございました。本当に手厚くていろいろ工夫されていて素晴らしいと思います。ありがとうございます。

そのほかよろしいでしょうか。

(発言する人なし)

○会長 ありがとうございました。

それでは、続きまして、健康課のほうからお願いいたします。

○事務局 それでは、データヘルス計画の経過報告をさせていただきたいと存じます。

恐れ入りますが、資料の10をご用意ください。

令和5年度に作成をいたしました第3期データヘルス計画の標準化シートをベースにご報告させていただきたいと思います。

資料上、黄色の網かけとしている部分が新たに数値等を更新している箇所でございますが、一部定期的に数値が出ないものもあるという状況でございます。

最初に、計画の全体像でございます。資料10の左上に、3、計画全体とございます資料をご覧ください。

一番左端にございますアルファベットは、健康課題をA、B、C、D、Eに分類をしたものでございます。そのまま右側に列を進んでいただきまして、中央付近にございます「計画全体の評価指標」欄をご覧ください。この各評価項目の目標値などは、そのさらに右にございます目標値、実績値欄に記載をしてございます。目標値欄につきましては各年度ごと、上部の目標値に対して、下に実績値を示してございます。

こちらA分類からE分類の各項目の詳細につきましては、所管課ごとにこの後、個別シートにてご説明をさせていただきます。

それでは、健康課長よりご説明させていただきます。お願いいたします。

○事務局 それでは、1ページ目をおめくりいただきまして、まず、事業の1、特定健康診査をご覧くださいいただければと思います。

このシートのうち、評価方法に調定報告書を用いているものにつきましては、令和6年度分の法定報告値が11月以降に公表されますことから、参考値といたしまして、健康課におきまして集計した数値を

記載しております。そのため今後公表される想定報告書と変動が生じる可能性がございますので、その点ご了承くださいければと思います。

それでは、アウトカム指標1の内臓脂肪症候群の該当者の割合についてでございます。こちらは20.2%となりまして、計画策定時から増加しておりまして、目標達成には至りませんでした。

続きまして、アウトカム指標2の生活習慣改善意欲のない人の割合でございます。こちらは数値が低いほどよい結果となる項目でございますが、結果は25.7%と計画時より大きく減少しておりまして、令和6年度の目標値につきましても大幅に達成しているといった状況でございます。

続きまして、アウトプット指標の特定健康診査受診率及び60歳未満の特定健康診査受診率につきましては、ともに計画策定時の数値を上回っておりまして、コロナ禍以降、受診率のほうは上昇傾向にございます。

こちらの事業はそれぞれの数値に及ぼす要因の分析は難しいものではございますが、全体的に数値が上昇傾向にあることから、市民の皆様の健診に対する意識は向上しているものと推察しているところでございます。

続いて、ページをおめくりいただきまして、事業2の特定保健事業をご覧くださいと思います。

こちらの事業は、特定健診の結果、生活習慣病のリスクが高いと判定された方に対しまして、約3か月から6か月間をかけまして生活習慣改善の支援を行っていくものでございます。そのため現時点で支援が終了していない方が一定数おりますことから、正確な値を出すことはできませんので、こちらの数値につきましては来年度以降数値が出ましての報告をさせていただくものでございます。

続きまして、ページをおめくりいただきまして、事業の3、生活習慣病予防対策をご覧くださいと思います。

こちらアウトカム指標1の週3回以上朝食を抜く者の割合と指標2の女性の喫煙者の割合はともに数値が低いほどよい結果となる項目でございますが、それぞれ計画時よりも数値が若干上がっている状況でございます。

アウトプット指標1、若年層の受診率につきましては29.9%と変動はございませんでした。

続きまして、アウトプット指標2、食事、運動講座の参加人数は、市が独自で特定保健指導の対象者に対しまして開催しております講座の状況を示した指数となりますが、こちらの値につきましては計画作成時より減少しておりまして、前年度比より増加という目標の達成には至らなかったところでございます。

続きまして、ページをおめくりいただきまして、事業の4、要医療者フォロー事業をご覧くださいと思います。

本事業は、特定健診の結果、肥満で血糖値が受診勧奨レベルにある対象者のうち、医療機関での受診が確認できない方に対して受診勧奨を行うものであります。アウトカム指標1の要医療者フォロー事業対象者の減少率は、前年度の対象者のうち次の年度におきまして対象でなくなった方の比率を示したものととなります。結果といたしましては、令和5年度の対象者6名のうち、令和6年度も引き続いて対象となった方が3名おりましたので、数値といたしましては50%となっております。

続きまして、2の対象者全ての受診勧奨についてでございます。こちらは令和6年度の対象者6名全員に勧奨を実施しましたので、数値といたしましては100%となるものでございます。

続きまして、その下のアウトプット指標の受診勧奨により治療を開始した人の割合、勧奨後の医療機関受診率につきましては、ともに勧奨後の受診状況を示した数値となりますが、対象者6名全員におきましてその後の受診が確認できませんでしたので、数値としましてはゼロ%となっているところでございます。

健康課所管事業に関する進捗状況のご説明は以上でございます。

○事務局 続きまして、保険年金課よりご説明を続けさせていただきます。

次のページ、事業の5、糖尿病性腎症重症化予防事業（受診勧奨）をご覧ください。

アウトカム指標1のヘモグロビンA1c 6.2%以上の割合でございますが、こちらは13.4%となっております。アウトプット指標2の受診勧奨数につきましては144名となっております。

次のページになりますが、事業6、糖尿病性腎症重症化予防事業（保健指導）をご覧ください。

アウトカム指標1の腎不全（透析あり）のレセプトのある被保険者数の対前年度増減率でございますが、2.6%の減となっております。社会保険への加入、75歳年齢到達による脱退、また、離職による加入などによって、成果としての分析というのは非常に難しいところではございますが、結果として、若干減少しているといった結果になってございます。

アウトカム指標2、HbA1c 6.2%以上の割合につきましては、先ほどご説明をしたとおりでございます。

アウトプット指標1の保健指導プログラムの完了率につきましては100%となっており、令和6年度におきましては8名の方が保健指導の希望をなされて、いずれの方もプログラムを完了したところでございます。

次のページ、事業7、ジェネリック医薬品（後発医薬品）の利用促進をご覧ください。

アウトカムでは、目標値75.0%に対して実績は82.8%達成しているといった状況でございます。

アウトプットにつきましては、1,428件の通知実績となっており、アウトカム指標は達成しているところでございますが、アウトプット指標について目標値を下回り、かつ減少しております。この要因といたしましては、母数でございます被保険者数の減少、アウトカム指標の後発医薬品の使用割合が増加していることなどといったことが考えられるところでございます。こちらは今後の推移を確認しつつ、目標等の設定を検討してまいりたいと考えてございます。

次に、次ページ、事業の8でございます。

事業8、重複・頻回受診対策をご覧ください。アウトカムについてでございますが、令和5年度に通知を行いました対象者数の錠数の状況を令和6年度と比較した数値でございますが、プラス35.1%となっております。年2回、9月と3月に重複・頻回受診に係る通知を送っているものの、前年度比較といたしましては増といった結果となっております。前年度までの推移が若干上昇しているため、単年度での評価は難しいところでございますが、同じ対象者につきましては継続して注視していきたいと考えております。なお、アウトプットでは、対象となる方に確実に通知を行っているところでございます。

次のページでございますが、事業の9、健康増進・サポート事業をご覧ください。

システムの登録者数の増加をアウトプットとしているところでございまして、令和6年度末におきましては361人となっております。健診や各種イベント、窓口での案内時など引き続き利用者の増につながるような様々な周知を図ってまいりたいと考えてございます。

以上でデータヘルス計画の経過報告とさせていただきます。

今後も引き続き分析・検証を行いまして、被保険者の健康保持推進に努めてまいりたいと考えております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

以上でございます。

○会長 ありがとうございます。

何か皆様からご質問などございますでしょうか。

お願いいたします。

○委員 今データヘルス計画について説明をしていただいて、東久留米市でも令和6年度から11年度までの第3期データヘルス計画、第4期特定健康診査等実施計画というのを策定していただきまして、この中で糖尿病と歯周病についてのいろいろな検討事項も入れていただいております。

歯周病予防の普及啓発として、糖尿病と歯周病は相互に悪影響を及ぼすことから、関連データに基づいてということで、特定健診の中で糖尿病のリスクの高い方、なおかつ国保データベースに基づきまして、2年間歯科の受診のない方に成人歯科検診の受診勧奨をするということを行っていただきました。これは本当に画期的な事業で、市のほうには感謝しています。実は、この6月に社会歯科学会という学会がございまして、説明していただいた健康課長に演題を発表していただき、また、市長と、あと医師会長に共同演者になっていただきまして大きな成果があったかなと考えているところでございます。引き続きこうした取り組みをまた深めていただきながら、成人歯科健診ももちろんのこと、歯科の受診勧奨等につなげていただければより効果が高まるのではないのかというふうに期待しておりますので、引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

ありがとうございます。

○会長 どうもご報告もありがとうございました。

本当に東久留米市は自治体はもちろんですけれども、いろいろな委員の先生方、医師会、歯科医師会ともご連携いただいていて、素晴らしい取組を進められていると思います。

皆さん方からほかにご意見や、あるいはご質問はございますでしょうか。

(発言する人なし)

○会長 こちらのデータヘルスは、本当に素晴らしいなと思って今日も拝聴しました。先ほどあったように、例えば健診受診率が少しずつ上がっているとか、生活習慣の改善の意欲がない人が大分減ってきたりとか、メタボはについてまだやる余地があるとか、1年ごとの進捗がよく分かります。

それから、一つご報告ですが、東久留米市は非常に健康寿命が長い市なんです。昨年、本協議会でも取り上げていただきましたが、東久留米市内の小学校と中学校の皆さんに、東久留米市のデータヘルス計画に基づき、小学校・中学校の授業の中で、東久留米市在住のお父さん、お母さん、おじいさんやおばあさんはなんで元気なんだろう、という事業を我々のほうでさせていただきました。小学校、中学校の皆さんも非常に興味津々で、自分ごとで捉えていただき、大人だけではなくて、お子さんにもこういった健康づくりの取組や成果をデータで可視化をするというのは有用ではないかなというふうに思いました。関係者の皆様、ご協力いただきましてありがとうございます。

ほかによろしいでしょうか。

お願いいたします。

○委員 少し先の話になってしまうと思いますが、基金積立金は来年度執行する予定でしょうか、それともこのまま積み立てていくのでしょうか。

○会長 お願いいたします。

○事務局 基金は、基金条例に基づきましてその使途が定められている中で、これまでは法定外繰入等が過分になる部分を抑えたりという形で活用してまいりました。

今年度も決算剰余金積み立てていくという形になっておりまして、今後何か事がある場合には使うというような決断を当然していくこともあるのだと思います。ただ、現状といたしましては、決算認定前ではございますが、約3,500万円強ということで、これまでは単位としてはもう一つ上の単位の金額で、例えば税率抑制のためにというような理由も含めて使ったりしてきた経過があります。現時点では額としては非常に少ない状況にありますので、今の時点で何かをとというのはございませんが、使途としては今申し上げたように定められた中で使うことは可能であると考えております。

○委員 私の個人の意見かもしれないのですが、ぜひこのまま積み立てていただければと思っています。億単位にならないと影響が出る額にはならないと思いますので、よろしくお願いいたします。

○会長 ありがとうございます。

先生、お願いいたします。

○委員 今、会長のお話から、市は健康寿命が長いということを再認識しました。小・中学生の皆さんに自分の地元の状況と併せて考えていただくような取組をされているということで非常に興味深く思います。我々も歯のことは口腔衛生指導といって、口の中もきれいにしましょうと小学校3年生と6年生に話しています。その時やはり人生100年時代だから歯を大事にいうことがあって、子どもたちは大変興味深く聞いてくれます。

会長より健康寿命が長い市の特色について、議論の内容を情報共有していただければありがたいと思います。どんな話が子どもたちから出たのか、教えていただけますか。

○会長 委員がおっしゃるように生活習慣病の予防の事業の一環としてやっておりますが、一般に生活習慣病と言ってもみんなぴんときていませんでした。しかし、「実は東久留米市の皆さんの健診のデータから見ると」と言う途端に目の色が変わりまして、それは自分のお父さん、お母さんもなんだろうかと、お父さん、お母さんにちょっと健診を受けているか聞いてみようとか、あるいはかかりつけ医やかかりつけ歯科医をお父さん、お母さんが持っているのをちょっと聞いてごらん、といった話をしました。後のアンケートでは90%以上のお子さんが授業の日に家に帰ったらお父さん、お母さんに尋ねたという結果でした。非常にお子さんの影響力は大きいと感じました。

また、東久留米市は健康政策が素晴らしいだけでなく、例えば川が流れていたり、遊歩道があったりとか、あらゆる市の施策があり、東久留米市の文化や、これらを含む社会環境を活かしているのではないかと思います。そういうことを子どもたちは結構考えていて、例えば糖尿病1型の生徒がいる学校もありますが、そこでは「先生、生活病って別に努力してないからなるわけではないでしょう？」といった発言もありました。それは本当にそのとおりで、生まれつき長距離走が得意な子もいれば、短距離が得意な子もいるので、その子の特徴に応じてそれなりの生活が大事だといった、同級生のことを思いやるような発言がありました。最近では社会が分断されているという危惧もある中で、東久留米市はいい生徒さんが多いのか、先生が素晴らしいのか、我々は非常に感動したようなところがございます。

○委員 ありがとうございました。また機会があれば詳しく教えていただきたいと思います。もう一つ、実は歯科疾患実態調査の令和6年度のデータがありまして、80歳で20本歯がある方が令和4年度調査は51.6%、今回は61.5%と大きく増えました。また、8歳から10歳の虫歯が全国的には今まで減っていたのが今回急に増えたという結果が出ています。ところが、養護の先生との年1回の話し合いでは、コロナのときに東久留米市内の小学生も中学生も虫歯は増えなかったというデータがあり、東久留米市は増えなかったが、全国では少し増えたという結果がわかりました。会長のおっしゃった東久留米のよさというのが、いい影響もあったのかなと感じています。今後は、なぜそうなったのかというのは分析していきたいと思いますので、会長からも何かありましたら、ご指導をお願いしたいと思います。

○会長 よろしく願います。どうもありがとうございます。

それでは、ほかにございますでしょうか。

(発言する人なし)

○会長 よろしいでしょうか。

ありがとうございました。

それでは、事務局よりその他についてお願いいたします。

○事務局 事務局からお知らせです。

本日、今年度第1回目の運営協議会を開催させていただいたところでございますが、今年度におきましては年に3回程度開催をさせていただく予定であります。

今後の運営協議会についてでございますが、第2回目は令和8年1月22日の午後5時半からを予定しております。第3回目についてですが、同じく令和8年1月29日、午後1時半から開催の予定でございます。

お忙しい中大変恐縮でございますが、皆様におかれましてはご予定いただきますようお願い申し上げます。また、事務局より開催の通知、ご連絡等させていただきたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局からは以上でございます。

○会長 どうもありがとうございました。

◎閉議及び閉会の宣告

○会長 それでは、これもちまして、令和7年度第1回国民健康保険運営協議会を閉会といたします。

皆様、本当にお暑い中、本日もありがとうございました。

(午後2時43分閉会)

以上の会議録に相違ないことを証し、署名する。

令和7年7月31日

会 長 古 井 祐 司

署名委員 齋 藤 昇 司

署名委員 小 玉 剛

署名委員 村 野 邦 男